

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	The use of Mohs micrographic surgery for determination of residual tumor in incompletely excised basal cell carcinoma	
	論文の日本語タイトル	不完全切除された BCC において残存する腫瘍の評価に Mohs 手術を用いた	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCCQ10-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	1583176	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	26	
	号	5	
	ページ	754-6	
	ISSN ナンバー	0190-9622	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1992	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Bieley HC	Department of Dermatology and Dermatologic Surgery, University of Miami, Florida
	その他著者 1	Kirsner RS	
	その他著者 2	Reyes BA	
	その他著者 3	Garland LD	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		

一次研究の 8 項目	目的	断端陽性の BCC に対して、MMS を用いて残存腫瘍を検討した	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	マイアミ大学	
	対象者	77 症例 78 切片 不完全切除の BCC	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 22 ）	
	介入（要因曝露）	組織学的に不完全切除と診断	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	MMS による腫瘍残存の有無	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
レビューワーコメント	主な結果	55%に残存腫瘍が確認され、2 回以上の追加 MMS を必要とした。 2 stages 25 例（32%）、3 stages 10 例（13%）、4 stages 3 例（4%）、 5 stages 5 例（6%）特に MMS の回数が多い部位は鼻、前額、耳の 順である。	
	結論	初回手術で辺縁陽性の BCC の場合、高い頻度で腫瘍残存が確認される ので、その場合の再切除を提唱した。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 組織学的な残存が確認された場合は再切除を要し、この場合の MMS を推奨している。	